

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

平成28年度事業報告書

概 況

平成28年度事業の実施に当たっては、前年度に引き続き、県民の健康づくりの中核として健康診査事業をはじめとする各種保健事業を効果的に推進した。

さらに、健康寿命の延伸が課題となっていることから普及啓発事業やがん対策事業等についても積極的に取組を行った。

その結果、総体的には所期の事業目的を達成することができた。

1 普及啓発事業

特定健診・特定保健指導受診促進のための広告及び各種がん検診の受診勧奨広告について年齢層に合わせた媒体を選び、新聞広告の他にラジオを媒体とした番組を放送し、受診率向上に努めた。

また、前年度に引き続き「24時間テレビチャリティブース」に出展し、乳がん病巣モデルによるセルフチェック体験、血管年齢測定等により、広く県民に対し生活習慣病に関する啓発を行った。

さらに、一般住民を対象に妙高市・十日町市・聖籠町・魚沼市・粟島浦村と共催で生活習慣病予防等に関する講演会を開催し、予防知識の普及啓発に努めた。

2 研究研修事業等

新潟県がん検診研究会及び新潟県糖尿病対策推進会議主催による特別講演及びシンポジウムを行った。

また、検診体制の整備、検診精度の向上に寄与するため、検診従事職員に対する乳がん検診、胃がん検診の各セミナー及び細胞診研修会を開催した。

さらに、検診機関の臨床検査技師、診療放射線技師等を対象とした検診従事職員研修会の開催に当たっては、参加施設の代表者が発表等を行う参加型の内容として、検診機関職員等に積極性を促す研修となるよう努めた。

3 健康診査事業連絡調整事業

新潟県国民健康保険団体連合会から市町村国保及び県内3国保組合（医師国保、薬剤師国保、建築国保）の健診等実施に関する支援事業の委託を受けた。また、各種がん検診が健康増進法に基づいて実施されることになっており、市町村から検診に付随する業務の委託を受け、概ね当初の計画どおり事業を実施した。

4 健康情報管理事業

特定健診及び各種がん検診の健(検)診結果について統計分析を行い、全県、市町村別、検診機関別等の集計データを関係機関に還元し、各種健(検)診の精度管理に寄与した。

また、例年どおり市町村からの申込みに基づき、各種(胃・子宮・乳・肺・大腸・前立腺)がん検診のデータ還元を実施した。

さらに、県下444健診実施機関の委託を受けて特定健診結果の電子化代行処理を実施した。

5 疫学調査事業

検診で発見された「がん」又は「がんの疑い」と判定された者について、精検医療機関の協力を得て、例年どおり疫学調査を実施した。

また、追跡調査として3年後及び5年後の生存状況等について、関係市町村の協力を得て例年どおり調査を実施し、疫学調査データの補完を行うとともに本県の検診精度の維持・向上に努めた。

6 がん登録事業

平成28年1月から施行された「がん登録推進法」に基づいた「全国がん登録」について、県の委託により、関係医療機関の協力のもと情報収集事業を実施し、本県のがん対策の推進に寄与した。

7 脳卒中情報システム事業

県の委託により、市町村、医療機関からの情報提供を受けて集計・解析した報告書を作成した。併せて、関係者及び関係機関に対し情報のフィードバックを行った。

8 連携事業

(公財)日本対がん協会との連携については、同協会の後援により第33回がん征圧新潟県大会を開催し、多数の参加者を得て成果を収めた。なお、がん征圧運動の全県的な展開を図るため、昨年度の長岡市に引き続き南魚沼市で「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」との共催事業として開催した。

また、日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の未受診者の掘り起しを図った。

さらに、日本対がん協会等関係団体主催の会議に出席する等により情報の収集に努めた。

〈 理事会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決を行った。

第17回 定例理事会

期 日： 平成28年6月14日(火)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成27年度事業報告について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成27年度決算報告について

原案どおり可決承認

第3号議案 任期満了等に伴う役員等の選任について

原案どおり可決承認

第4号議案 定時評議員会の開催日時及び場所の選定等について

原案どおり可決承認

第18回 臨時理事会

期 日： 平成28年6月29日(水)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

原案どおり可決承認

第2号議案 業務執行理事の選定について

原案どおり可決承認

第3号議案 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について

原案どおり可決承認

第19回 定例理事会

期 日： 平成29年3月3日(金)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 「平成29年度事業計画の承認」について

原案どおり可決承認

第2号議案 「平成29年度収支予算の承認」について

原案どおり可決承認

第3号議案 「臨時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

原案どおり可決承認

第13回 定時評議員会

期 日： 平成28年6月29日(水)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成27年度事業報告について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成27年度決算報告について

原案どおり可決承認

第3号議案 任期満了等に伴う役員等の選任について

原案どおり可決承認

第14回 臨時評議員会

期 日： 平成29年3月14日(火)

場 所： 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正」について

原案どおり可決承認

第2号議案 「定款の変更」について

原案どおり可決承認

報告事項：

(1) 平成29年度事業計画について

(2) 平成29年度収支予算について

平成27年度事業・決算監査

期 日： 平成28年5月26日(木)

場 所： 財団会議室

議 題：

(1) 平成27年度事業報告について

(2) 平成27年度決算報告について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」の構成団体として、受診率の向上等円滑な事業実施を図るため研修会等の開催、広告媒体を用いた広報、健診データの評価分析等を実施し、市町村国保をはじめとする医療保険者が実施する特定健診・特定保健指導事業等の後方支援に務めた。

1 会議・講演会等の開催

(1) 健康診査事業合同打合せ会 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

平成29年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により、次のとおり開催した。

期 日： 平成29年2月1日(水)

場 所： 新潟県自治会館 講堂

出席者数： 100人

(2) 市町村と共同で開催する講演会 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

生活習慣病(がんを含む)に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導及びがん検診の受診勧奨を目的として、次のとおり5市町村で開催した。

<大腸がん予防講演会>

期 日： 平成28年5月11日(水)

場 所： 妙高市新井ふれあい会館

参加者： 230人

内 容： 講演「大腸がんで命を落とすのは日本人だけ」

講師 福井県健康管理協会副理事長

県民健康センター所長

松 田 一 夫

<胃がん予防講演会>

期 日： 平成28年5月28日(土)

場 所： 道の駅クロスTEN十日町

参加者： 180人

内 容： 講演「知っておきたいピロリ菌のこと」

講師 厚生連長岡中央総合病院副院長

富 所 隆

<慢性腎臓病予防講演会>

期 日： 平成28年10月12日(水)

場 所： 聖籠町保健福祉センター

参加者： 80人

内 容： 講演「あなたと家族の腎臓を守ろう！

今日からはじめる健康生活」

講師 新潟大学医歯学系腎・膠原病内科教授 成 田 一 衛

<乳がん予防講演会>

期 日： 平成29年3月3日(金)

場 所： 魚沼市中央公民館

参加者： 80人

内 容： 講演「乳がん—最近の話題—」

講師 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐 藤 信 昭

<糖尿病予防講演会>

期 日： 平成29年3月27日(月)

場 所： 老人いこいの家(粟島浦村)

参加者： 30人

内 容： 講演「こうして防ごう！こわ〜い糖尿病」

講師 新潟県労働衛生医学協会副会長 佐 藤 幸 示

(3) 中学生に対する生活習慣病予防等教育(Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行った。

期 日： 平成28年5月25日(水)

場 所： 長岡市立秋葉中学校

出席生徒数： 80人

内 容： がんという病気のこと

講 師： 県立がんセンター新潟病院院長 佐 藤 信 昭

期 日： 平成28年9月16日(金)

場 所： 長岡市立小国中学校

出席生徒数： 106人

内 容： 癌 中学生高校生のがん生物学

講 師： 新潟産業保健推進センター所長 興 梶 建 郎

期 日： 平成28年11月18日(金)

場 所： 南魚沼市立大和中学校

出席生徒数： 331人

内 容： “がん”と放射線治療

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学教授 青 山 英 史

(4) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会(委員長 新潟県立大学人間生活部・健康栄養学科教授 田邊直仁)を運営し、診療報酬の改定に伴う平成29年度特定健診料金(案)について協議した。

2 特定健診データ等の評価分析等

特定健診等の結果集計報告を作成し、全県的な分析を行い、併せて市町村比較が容易となるよう資料を作成し市町村に提供した。

3 特定健診・特定保健指導の普及啓発及び受診率向上のための事業等

(1) 広告媒体を用いた普及啓発等(Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業と共同事業)

<ラジオ番組>

7月から9月までの間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、BSNラジオ番組「ゆうWAVE」内で全12回のコーナー(1回約7分間)を放送した。

1 健康診断の全般について

新潟県労働衛生医学協会副会長 佐藤 幸示

2 健康診断のデータの見方1

〃

3 健康診断のデータの見方2

〃

4 健康診断のデータの見方3

〃

5 健康診断のまとめ

〃

6 胃がん患者の声

大竹 幸一

7 乳がん患者の声

内藤 桂子

8 大腸がん患者の声

皆川 厚

9 肺がん患者の声

高橋 登

10 がん患者の相談事例

新潟県立がんセンター地域連携・相談支援センター看護師長

岡 敦子

11 がんになったときに知っておきたいこと

新潟県立がんセンター地域連携・相談支援センター

主任医療ソーシャルワーカー

植本 洋平

12 がんセンター院長の言葉

新潟県立がんセンター新潟病院院長

佐藤 信昭

(2) 普及啓発用パンフレットの配付

特定健診受診勧奨用パンフレットを作成し、市町村国保、県内3国保組合へ配付した。また、イベント参加者にパンフレットを配布した。

(3) 普及啓発用（貸出用）備品整備（Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業と共同）

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関するタペストリー、機器等の健康教育資材の貸出による普及啓発に努めた。（貸出件数 27件）

(4) 各種健康づくりイベントへの参加（Ⅱ がん検診等受託事業と共同）

24時間テレビチャリティブースのイベントに出展し、参加者に対し特定健診及びがん検診等の普及啓発を図った。

期 日： 平成28年8月27日(土)、28日(日)

場 所： 万代シティ歩行者天国

参加者： 750人

内 容： 血管年齢測定、乳がん触診体験、歯周疾患チェック、受診勧奨用パンフレット配布等

4 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

本財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表となって、県内30市町村及び県内3国保組合と、特定健診・特定保健指導に係る業務委託契約を締結することで、全县統一方式を推進し市町村国保等における契約事務作業の軽減を図った。

5 印刷物の企画、印刷・配付等

(1) 特定健診個人記録票、質問票、連名簿等の印刷

大量印刷することによるコストダウンを図るため、健（検）診ガイドラインに掲載されている様式について市町村等の必要部数を取りまとめた上、一括印刷を行い配付した。

(2) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用ポケットティッシュの印刷

特定健診・特定保健指導受診勧奨用にポケットティッシュ（30万個）を作成し、市町村等に配付した。

6 新潟県健診保健指導支援協議会構成団体共同事業【新規事業】

新潟県健診保健指導支援協議会の構成団体と特定健診の普及啓発と受診勧奨を図るため、受診勧奨用パンフレット（4,000部）を配付し、各構成団体が行う講演会等で配布した。

Ⅱ がん検診等受託事業

1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等業務担当者研修会の開催

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく事業に新しく従事する事務担当者等を対象とした研修会を次の

とおりに開催した。

期 日： 平成28年5月30日(月)

場 所： 新潟県医師会館

出席者数： 55人

(2) 健康診査事業に関する合同打合せ会の開催 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同)

(3) がん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診実施に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診を実施する上での問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は平成27年度実績

ア 胃がん検診

契約市町村数 30 (30)

受診者数 91,859人 (96,799人)

イ 子宮がん検診

車 検 診

契約市町村数 26 (25)

受診者数 30,487人 (30,098人)

施 設 検 診

契約市町村数 27 (28)

受診者数 22,001人 (22,994人)

体がん検診

契約市町村数 6 (7)

受診者数 905人 (916人)

ウ 肺がん検診

X線写真読影

契約市町村数 30 (30)

受診者数 220,961人 (224,027人)

喀 痰 検 査

契約市町村数 30 (30)

受診者数 5,803人 (7,449人)

エ 乳がん検診

集団(マンモ)

契約市町村数	29	(29)
受診者数	53,554人	(54,750人)

施設(マンモ)

契約市町村数	16	(18)
受診者数	11,183人	(12,030人)

施設(視触診)

契約市町村数	2	(2)
受診者数	2,317人	(2,143人)

オ 大腸がん検診

契約市町村数	29	(29)
受診者数	133,094人	(134,483人)

カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	1	(1)
受診者数	571人	(143人)

キ 前立腺がん検診

契約市町村数	14	(13)
受診者数	8,619人	(7,913人)

2 がん登録事業

がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業として、県の委託により関係医療機関への資料の配付、がん登録情報の收受などがん登録室及び協力医療機関と連携し事業を行った。

() 内は平成27年度実績

登録票受付件数	21,097件	(28,078件)
届出医療機関数	114機関	(120機関)

3 検診結果統計分析事業

下記に記載の各種がん検診の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。

・胃がん検診	91,859件
・子宮がん検診	52,488件
・肺がん検診 (胸部)	220,961件
・ 〃 (喀痰)	5,803件

・乳がん検診	67,054件
・大腸がん検診	133,094件
・前立腺がん検診	8,619件

4 がん検診データ還元事業

希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 () 内は平成27年度実績

・胃がん検診実施市町村数	6	(6)
・子宮がん検診実施市町村数	6	(6)
・乳がん検診実施市町村数	6	(6)
・肺がん検診実施市町村数	4	(4)
・大腸がん検診実施市町村数	4	(4)
・前立腺がん検診実施市町村数	1	(1)

5 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を提供いただいた。

また、特定健診結果についても市町村国保、県内国保組合以外の被用者保険等の健診結果を含めて取りまとめるため、関係機関から情報を収集し検討を行った。

6 疫学調査事業

平成27年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成25年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成23年度・平成25年度がん検診受診者)を実施した。

	(平成27年度分) 疫学調査	(平成23年度・平成25年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	189件	451件
・子宮がん検診実施件数	195件	185件
・肺がん検診実施件数	309件	231件
・乳がん検診実施件数	178件	318件
・大腸がん検診実施件数	398件	658件

7 精度管理調査事業

伝統ある新潟県の健(検)診及び検診実施機関の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において、

県検診機関協議会を対象とした精度管理実態調査結果をまとめ、調査対象施設に調査結果をフィードバックし、市町村に対しても調査結果の情報提供を行った。

新潟県検診精度管理調査委員会

委員長 秋山俊彦(臨床検査技師)

委員 9人

平成28年6月24日(金) 新潟県検診精度管理調査委員会

10月14日(金) 新潟県検診精度管理調査委員会

8 研究研修事業

(1) 新潟県がん検診研究会

新潟県がん検診研究会(会長 青山英史 新潟大学教授)の事業を実施した。

会員数 個人 16人 団体 81団体

平成28年6月2日(木) 運営委員会 新潟県医師会館

6月20日(月) 第1回理事会 //

平成29年2月20日(月) 第2回理事会 //

第28回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

期 日： 平成28年12月16日(金)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 67人

内 容：

ア 特別講演 「胃内視鏡検診 - 導入から今後の課題まで -」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院臨床部長 成澤 林太郎

座 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学教授

新潟県がん検診研究会長 青山 英 史

イ シンポジウム 「胃がん(内視鏡)検診について」

シンポジスト

1 「胃がん(内視鏡)検診について

～健(検)診ガイドラインの改正(案)～」

新潟県福祉保健部健康対策課 技師 中村 春 歌

2 「胃内視鏡検診導入に向けた新潟県医師会の活動」

新潟県医師会業務二課長 近松 智 幸

3 「新潟市の胃がん(内視鏡)検診について」

新潟市健康増進課 がん予防係 主幹 吉田 正 子

座 長 新潟県労働衛生医学協会医師 月岡 恵

<アンケート結果報告> 県健康づくり財団事務局

(2) 新潟県糖尿病対策推進会議

新潟県糖尿病対策推進会議(会長 渡部 透 新潟県医師会長)の事業を実施した。

会 員 数	個人	20人	団体	68団体	
平成28年 5月11日(水)	幹事会				新潟県医師会館
5月31日(火)	第1回理事会				〃
10月2日(日)	糖尿病ウォークラリー				長岡赤十字病院
11月28日(月)	幹事会				本財団
平成29年 2月10日(金)	第2回理事会				新潟県医師会館

第3回新潟県糖尿病対策推進会議総会を「日本糖尿病療養指導士」の認定更新研修会として次のとおり開催した。

期 日： 平成29年3月18日(土)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 59人

内 容：

ア 基調講演

演 題 「『知っておきたい「糖尿病」』のテキスト作成にあたって
～ 食事療法部門でめざしたこと ～」

講 師 JA新潟厚生連長岡中央総合病院 管理栄養士 高 橋 洋 平

演 題 「糖尿病の食事療法：最近のトレンドと科学的知見から」

講 師 新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科 助教 堀 川 千 嘉

座 長 新潟大学医歯学総合病院 栄養管理部栄養管理室長

村 山 稔 子

イ 特別講演「糖尿病における食事療法の意義と課題」

講 師 東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科教授

宇都宮 一 典

座 長 上村医院 院長

上 村 伯 人

ウ 症例検討

発表者

症例1 新潟医療生活共同組合 木戸病院 栄養科長 山 口 朝 子

症例2 万代内科クリニック 栄養士 高 橋 まり子

症例3 〃 加 藤 久 美

座 長 万代内科クリニック 院長 田 村 紀 子

新潟県立新発田病院 副看護師長・糖尿病看護認定看護師

大 瀧 陽 子

コメンテーター 長岡中央総合病院副院長

八 幡 和 明

(3) 新潟県検診機関協議会

検診事業を実施する26団体で構成されている新潟県検診機関協議会の事業を実施した。

平成28年 5月19日(木) 定例総会	新潟県医師会館
5月19日(木) 第1回常任幹事会	〃
11月13日(日) 福祉・介護・健康フェア2016出展	朱鷺メッセ
12月 8日(木) 第2回常任幹事会	新潟県医師会館
12月20日(火) 第1回中堅幹部職員養成研修会	〃
平成29年 1月11日(水) 第2回中堅幹部職員養成研修会	〃
2月10日(金) 第3回中堅幹部職員養成研修会	〃
2月28日(火) 創立30周年記念講演会	新潟東映ホテル
「エンターテイメント理論による職場力・地域力・人間力の構築」	
講 師：NPO法人全国元気まちづくり機構理事長 野 尻 博	
2月28日(火) 検診従事職員研修会	新潟東映ホテル
(内容は22頁参照)	

9 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

新潟県肺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 青山英史
委員 9人

地域肺がん検討委員会(12地域)

(設置地域) 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・魚沼・南魚沼・十日町
柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成29年 2月20日(月)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 委員の交代について
- (2) 平成27年度肺がん検診結果報告について
- (3) 平成26年度肺がん疫学調査・追跡調査について
- (4) 平成27年度地域肺がん検討委員会開催状況について

10 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において、乳がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携を図った。

新潟県乳がん検討委員会

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信昭

委員 14人

地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成28年10月12日(水)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 委員長の交代について
- (2) 平成27年度乳がん検診結果報告等について
- (3) 平成25・26年度乳がん疫学調査結果報告について
- (4) 平成27年度地域乳がん検討委員会の開催状況について
- (5) 乳がん検診セミナーの開催について
- (6) その他

また、小委員会を開催した。

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信昭

委員 3人

期 日： 平成28年9月30日(金)

場 所： 新潟県医師会館

議 題： (1) 乳がん検診セミナーの内容について

(2) その他

11 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

新潟県前立腺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科

腎・泌尿器病態学分野 教授 富田 善彦

委員 10人

前立腺がん検討委員会を次のとおり開催した。

期 日： 平成29年 3月 4日(土)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

(1) 平成27年度前立腺がん検診結果等について

(2) その他

12 新潟はっぴー乳ライフ【新規事業】

本事業(代表 佐藤信昭 県立がんセンター新潟病院長)については、従来、県立がんセンター新潟病院内に事務局を置いて運営していたが、要請を受け平成28年度から本財団が事務局を引き受け事業を実施した。

平成28年 5月10日(火)	第51回実行委員会	がん予防総合センター
5月24日(火)	ピンクリボン委員会	〃
7月 5日(火)	第52回実行委員会	〃
8月23日(火)	第53回実行委員会	〃
10月 1日(土)、10月11日(火)～16日(日)	ピンクライトアップの実施	新潟日報メディアシップ
11月22日(火)	第54回実行委員会	がん予防総合センター
平成29年 2月 7日(火)	ピンクリボン委員会	〃
3月 7日(火)	第55回実行委員会	〃

「新潟はっぴー乳ライフ ピンクリボンホリデー2016」を次のとおり開催した。

期 日： 平成28年10月16日(日)

場 所： 新潟日報メディアシップ 2F 日報ホール他

参加者： 750人

内 容：

第1部：リレー講座「知ればこわくない！ 乳がんのこと」

座 長 済生会新潟第二病院外科 田 邊 匡

講座 ①「乳がん検診は意味がないの!？」

新潟県立がんセンター乳腺外科 神 林 智寿子

②「マンモグラフィ検診～思ったよりも痛くない!？」

こわがらないで受けてみよう～」

新潟大学医歯学総合病院診療支援部放射線部門

解 良 絢 子

③「乳がんの治療について」

新潟県立がんセンター乳腺外科

金 子 耕 司

④「乳がん患者さんご家族のサポート

～あなたらしさを支えたい～

新潟市民病院患者総合支援センター 二 宮 一 美

第2部：トークショー「乳がんよもやま話」

ゲスト 伊勢みずほ（フリーアナウンサー）

五十嵐 紀子（新潟医療福祉大学社会福祉学部）

13 フレイル克服プロジェクト【新規事業】

平成28年10月から県の委託により本財団が「フレイル克服プロジェクト」の事務局となり、「疾患別介入モデル事業」と「加齢予防介入モデル事業」を事業の両輪とし、関係機関と実施に向けた準備を進めた。

平成28年10月27日（木）新潟県フレイル対策検討会ワーキング会議

12月19日（月）新潟県フレイル対策研修会

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 102人

内 容：

講演「加齢に伴うフレイル対策の確立に向けて」

新潟大学医学部整形外科 教授 遠藤直人

講演「新潟県フレイル対策の必要性とねらいについて

—独歩退院リハビリ（DOPPO）から学ぶ—

新潟南病院 統括常勤顧問 和泉 徹

14 中学生に対する生活習慣病予防等教育（Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業と共同）

15 市町村と共同で開催する講演会（Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業と共同）

16 広告媒体を用いた啓発・普及等（Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業と共同）

Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業

1 生活習慣病予防普及啓発事業

（1）生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

期 日： 平成28年10月7日（金）

場 所： 南魚沼市コミュニティホール「さわらび」

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

個人 佐藤幸示 医 師

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人	渡部 坦	医師
	石井 八寿江	〃
	渡辺 雅晴	〃
	太田 裕	〃
	荒井 節子	保健師
	笛田 京子	栄養士
	大口 洋子	保健師
	後藤 紀代美	〃
団体	該当なし	

(2) 生活習慣病予防展開催

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を図る目的で関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催した。

期 日： 平成28年10月7日(金)

場 所： 南魚沼市コミュニティホール「さわらび」

(3) 機関紙発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)はじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

第15号： 平成28年7月20日発行

「肝細胞癌および膵癌の最新の話題」

新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野教授

寺井 崇二

「歯周病と生活習慣病」

新潟県歯科医師会常務理事

稲富 道知

第16号： 平成28年11月30日発行

「前立腺癌の診断、治療と検診について」

新潟大学医歯学総合病院(新潟大学大学院教授)

富田 善彦

「ピンクリボンホリデー2016 リレー講座」

済生会新潟第二病院外科部長

田邊 匡

他講師4名

「ピンクリボンホリデー2016 を終えて」

新潟はっぴー乳ライフ代表(新潟県立がんセンター新潟病院院長)

佐藤 信昭

第17号： 平成29年3月31日発行

「働く世代の健康づくり・生活習慣病からメンタルヘルスまで」

新潟産業保健総合支援センター長

興 梶 建 郎

「健康づくりにおける薬局・薬剤師の取り組み」

公益社団法人新潟県薬剤師会会長

山 岸 美恵子

(4) 健康教育資材等の提供 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同)

(5) 広報活動

<新聞広告等>

10月と11月に新潟日報朝刊にがん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

2 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析の上、報告書を関係機関に配付した。

また、脳卒中発症調査の報告医療機関に対し協力事務費の支払いを行った。

退院時情報提供受理件数	596件	提出医療機関数	8施設
脳卒中調査票受理件数	402件	提出市町村数	16市町村
脳卒中発症調査受理件数	664件	提出医療機関数	51施設

IV (公財)日本対がん協会との連携事業

1 がん予防普及事業

(公財)新潟県健康づくり財団 がん征圧維持会員募金状況

維持会員募金の実績は次のとおりである。

・ 法人会員	自治体会員	30市町村	1,250,000円
	医師会会員	16団体	400,000円
	検診団体会員	26団体	260,000円
	一般法人会員	54団体	545,000円
・ 個人会員		58人	220,000円
	(合 計)		2,675,000円)

2 広報活動

ポスター・リーフレットの配布	(部数)
ポスター「がん征圧月間」	345枚
ポスター「禁煙推進」	345枚
リーフレット「がん検診」	1,000部
リーフレット「乳がんのセルフチェック」	1,000部

3 第33回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRし、がん撲滅の誓いを新たにするため関係機関の協力のもと次のとおり開催した。

なお、新潟大学等が参画している「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」との共催により開催した。

期 日： 平成28年10月7日(金)

場 所： 南魚沼市コミュニティホール「さわらび」

参加者： 380人

内 容：

(1) 式典

(2) 体験談「がん罹患者として、日常生活の中で働くこと」

講 師 株式会社フォルテシモ代表 高 垣 諭

(3) 特別講演 「消化器がん(胃・大腸がん)の予防と治療の最前線」

講 師 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院

消化器内科特任教授

小 林 正 明

座 長 新潟県労働衛生医学協会医師

月 岡 恵

(4) ミニコンサート

ソプラノ歌手

鈴 木 規 子

ピアノ奏者

上 村 明 子

4 無料クーポン券の配布

日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の受診促進を図った。(配布部数 175部)

V 研究研修事業

1 細胞検査士研修会の開催

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として、県の委託により研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成28年7月22日(金)、23日(土)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 88人

内 容：

(1) 鏡検 「婦人科領域の判定困難例」

(2) スライドセミナー

症例検討「婦人科領域の判定困難例」

座 長	新潟県立がんセンター新潟病院婦人科部長	笹 川 基
講 師	うちやま医院院長	内 山 三枝子
	産科・婦人科山田医院院長	山 田 潔
	新潟県立がんセンター新潟病院婦人科部長	菊 池 朗
	新潟大学医学部産科婦人科学教室助教	西 野 幸 治

2 乳がん検診セミナー

本県の乳がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成29年1月17日(火)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 126人

内 容：

(1) 特別講演「若年性乳癌の実態」

講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器一般外科学講座

土 田 純 子

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院院長

佐 藤 信 昭

(2) パネルディスカッション 「デンスブレストを巡る諸問題」

司 会 新潟県立新発田病院外科部長

池 田 義 之

パネリスト

済生会新潟第二病院外科部長

田 邊 匡

新潟県労働衛生医学協会燕検診センター放射線技師

木 原 美 之

新潟県立がんセンター新潟病院乳腺外科

小 柳 敬 子

新潟県福祉保健部健康対策課課長補佐

井 上 陽 子

3 胃がん検診セミナー

本県の胃がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成29年2月16日(木)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 77人

内 容：

(1) 講演1 「『胃がん検診ガイドライン 2014 年度版』・『胃内視鏡検診マニュアル 2015 年度』作成の経緯と新潟の関わりー新潟の貢献は極めて大なりー」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院臨床部長

成 澤 林太郎

(2) 講演2「新潟市における胃がん内視鏡検診の現状と問題点」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院内科部長 加藤 俊 幸

4 検診従事職員研修

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で次のとおり開催した。

期 日： 平成29年2月28日(火)

場 所： 新潟東映ホテル

参加者：	第一分科会	特定健康診査部門	84人
	第二分科会	診療放射線部門	43人
	第三分科会	細胞検査部門	21人
	計		148人

(実人員 142人)

内 容：

(1) 第一分科会 特定健康診査部門

施設発表「臨床検査における実践的知識」

発表者 下越総合健康開発センター健診検査事業部副部長

高 口 功

講演1「健診データから健康を考える」

講 師 新潟県労働衛生医学協会医師

加藤 公 則

講演2「COPDについて」

講 師 新潟県保健衛生センター理事長

土 屋 俊 晶

(2) 第二分科会 診療放射線部門

施設発表1「当院検診用PACS・レポートシステムの使用経験」

発表者 厚生連長岡中央総合病院放射線科

渡 辺 豊 央

施設発表2「下越総合健康開発センター発見肺がん症例(平成27年度)」

発表者 下越総合健康開発センター放射線課放射線技師

山 口 一 城

施設発表3「厚生連上部消化管精度管理委員会の取り組み」

発表者 厚生連魚沼病院放射線科

松 本 隆之介

講演 「CT-Colonographyの基礎」

講 師 新潟市民病院医療技術部放射線技術科

神 田 英 司

施設発表4 「CTCについて～1年目の現状～」

発表者 新潟県労働衛生医学協会

プラーカ健康増進センター課長補佐 海津比呂史

(3) 第三分科会 細胞検査部門

シンポジウム「新潟県の子宮頸がん検診における検診機関から見た

精度管理～ベセスダシステム導入後5年が経過して～」

司会 厚生連長岡中央総合病院病理部 石澤重一

演者 下越総合健康開発センター病理・細胞診検査課係長

板垣由香里

新潟県保健衛生センター保健部副部長 井上博子

新潟大学医歯学総合研究科産婦人科教室 渡邊夕香

上越地域総合健康管理センター健診検査課係長

江村敦子

厚生連長岡中央総合病院病理部

山田玲

講演「プロセス指標からみた

対策型新潟県子宮頸がん検診の精度評価」

講師 新潟南病院産婦人科部長

児玉省二

[収益事業等]

I 健康情報管理事業

1 特定健診結果電子化代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

() 内は平成27年度実績

特定健診結果電子化代行処理業務 75,809件 (77,967件)

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

() 内は平成27年度実績

特定健診個人結果通知書作成業務 2,203件 (2,254件)

事業報告附属明細書

平成28年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。